



カブドットコム証券株式会社
(コード番号：8703 東証1部)
代表執行役社長 齋藤 正勝

2009年2月12日

ネット取引の基本となる無料の投資情報サービス「マーケット情報」を大改訂
～ トムソン・ロイターの海外マーケット情報やコンセンサスレーティング等を大幅に拡充し
使い勝手も改善。株価配信も二重化 ～

カブドットコム証券株式会社では、2009年2月12日（木）から、ネット取引の基本となる無料の投資情報サービス「マーケット情報」を大改訂します。これにより、株価情報等の配信は、従来から提供しているQUICK社のサービスに、トムソン・ロイター社のサービスを加えたネット証券でも数少ない二本立てとなり、万一の情報ベンダーの障害時にもお客さまへの影響を抑える二重化体制となります。

また今後も、マルチチャネルに対応した携帯端末対応コンテンツ（為替情報など）、株価自動更新コンテンツ、自動売買システムトレードなど、個人投資家の投資成績向上につながるコンテンツを続々提供していく予定です。

● 新しい「マーケット情報」の概要

新しい「マーケット情報」は、世界最大の金融情報サービス会社のトムソン・ロイター社、会社四季報の東洋経済新報社、カブドットコム証券のオリジナルコンテンツをマッシュアップ*して、徹底的に「個人投資家がどのように投資情報を活用するのか」投資家目線にこだわり導線を考え抜いて作り上げた個人投資家のための投資情報サービスです。

また、各個別銘柄の詳細情報画面も一新。注文状況は取引所とkabu.comPTSの複数気配を表示、企業業績はトムソン・ロイター社のコンセンサスレーティングと企業スコアを新規採用し会社四季報の情報と合わせてグラフィカルで見やすくなりました。さらに、ニュースはお客さまのご要望も多かった海外や外国為替に強いトムソン・ロイター社のニュースを増強し、国内株式に特化した株式新聞ニュースと共に、国内外の幅広いニュースを網羅した内容となりました。

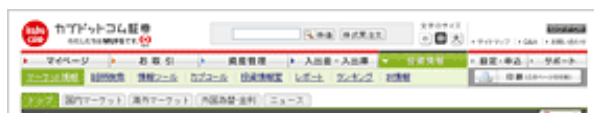
カブドットコム証券は、もっとも多くのお客さまが活用されるネット取引の基本となる無料の投資情報サービスだからこそ、現状に甘んじることなく大改訂し、「お客さまの投資成績」に貢献したいと考えております。もちろん、今回の改訂以降もお客さまのご要望を踏まえて、引き続きバージョンアップして参ります。

* マッシュアップ：WEB上に提供されている情報やサービスなどを組み合わせて、新しいソフトウェアやサービス、データベースなどを作ること。Web 2.0の構成要素として注目されている。



右側が「海外マーケット」情報で、株価指数・ニュース・外国為替・国内外で本日発表される経済指標、などの情報が並びます。

タブの下に各カテゴリー毎のジャンルが表示され、関連情報に進む事ができます。ジャンルによっては、さらにその下にサブメニューが表示されます。





マンノック。真ん中は、本値/高/4本値/企業関連で選択した業種と日経平均株価の比較チャート、またその業種に属する個別銘柄の時価総額順に現在値と前日比を表示、その業種の中で、どの銘柄が堅調で、どの銘柄が出遅れているのかが一目で分かります。

その下には、その業種の関連ニュースがあるので、なぜその業種が買われているのか、売られているのかも分かります。

一番右は、真ん中で選択した業種の時価総額1位銘柄のチャートと出来高、4本値、企業関連ニュースが表示されています。真ん中の列の銘柄一覧で、銘柄を選択しても、右列にその個別銘柄を表示。まさに、森を見て、その中の木を調べるために、作られた画面です。



＜海外マーケット＞

海外マーケット情報は今回もっとも拡充した情報の一つです。主要指数、外国為替、金利、ニュース、経済指標などがご覧いただけます。

マーケット急変動時に注目される「VIX（恐怖指数）」や、グラフィカルな経済指標もあり、海外情報は、質、量ともに充実しています。



● 二本立ての情報提供体制

当社の投資情報サービスは、複数の情報ベンダーからの情報を複合的に組み合わせ提供しております。今回の新しい「マーケット情報」の提供により、株価情報等の配信は、従来から提供しているカブボードフラッシュやkabuマシンなどのQUICK社のサービスに、トムソン・ロイター社のサービスを加えたネット証券でも数少ない二本立てとなり、万一の情報ベンダーの障害時にもお客さまへの影響を抑える二重化体制となります。

これにより、万一の情報ベンダーの障害に備えて複数のネット証券の口座を開く必要性も小さくなりますが、カブドットコム証券では今後もさらに安心してお取引いただけますよう尽力して参ります。



また今後も、マルチチャネルに対応した携帯端末対応コンテンツ（為替情報など）、株価自動更新コンテンツ、自動売買システムトレードなど、個人投資家の投資成績向上につながるコンテンツを続々提供していく予定です。



トップ	主要指数・指標、ニュース、株式ランキング、外国為替、本日発表の経済指標、業種別騰落率、銘柄データ
国内マーケット-株式	国内主要指数・指標、株式ランキング、業種別騰落率、ADR銘柄一覧
国内マーケット-銘柄データ	新規上場・変更・廃止、株式分割・割当・併合、監理・整理ポスト、公募情報、第三者割当増資情報、単位株数変更
国内マーケット-証金・信用	証金残・信用残、逆日歩、株不足
国内マーケット-先物・OP	先物相場一覧、先物OP速報ニュース、先物OPボード、国債先物レート
海外マーケット-先物・OP	各国株式指数、経済指標
外国為替・金利	外国為替、為替対顧客レート、各国金利一覧
ニュース	今日の行事・指標発表予定 株式新聞ニュース ロイター国内ニュース 国内株式市況（今日の相場見通し、今週の相場見通し、相場概況、銘柄情報、企業決算・格付け、日経平均テクニカル分析、新興市場・IPO、配当）、東京為替市況（外為マーケットアイ、東京マーケット・サマリー、今週の為替市場見通し）、債券・金利市況（金利マーケットアイ、日銀・官公庁、債券格付け）、国内マクロ経済（国内経済統計、指標/統計予測、発表カレンダー） ロイター海外ニュース 海外トップニュース、米国・欧州株式市況（米国マーケットレポート、欧州マーケットレポート）、アジア株式市況（アジアマーケットレポート）、エマージング株式市況、海外為替市況（NY/欧州マーケットサマリー、アジアマーケットサマリー）、債券・金利市況（中央銀行）、マクロ経済関連（米国主要経済統計、G5主要経済統計、エマージングマーケット統計、指標/統計予測、発表カレンダー） 投信関連 エマージングマーケット 市場調査レポート 見通し/コメント、ロイター個人投資家調査、ロイター国際投資戦略調査-東京、ロイター国際投資戦略調査-海外 政治・社会関連 日本、海外
個別銘柄詳細	複数気配状況（優先市場とkabu.comPTSの複数市場を一覧表示）、チャート、コンセンサスレーティング（5段階評価、目標株価）、投資指標、信用情報、関連ニュース、時系列データ、企業業績予想、評価レポート（三菱UFJ証券リサーチレポート）、取引状況